

自己改革への取り組み紹介

「農業を主軸にした地域農業組合」として農家組合員の農業所得向上を第一に考え、組合員や地域の暮らしに貢献していくことを目指し事業を進めています。

JA遠州夢咲では、営農経済涉外や農業融資の任命、また新たな助成金の創設など自主・自立の協同組合として独自の改革に取り組んでいます。しかしこのような改革は、組合員の皆様の評価を受けて初めて成果となります。これまで行なわれた自己改革の取り組みを紹介します。



自己改革 組合員の“声”を聞いて自己改革を加速

役員が管内の農業法人や大規模農家への訪問する取り組みを実施しています。寄せられた意見を集約しJA運営に反映します。

取り組み紹介

自己改革 担い手へ出向き声を聞く体制農業融資涉外の増員

平成29年度から、農業融資涉外を増員しました。
情報の共有・蓄積を図りながら担い手へ出向き体制を強化していきます。

自己改革 営農支援事業を提案農業振興に繋げます!

さまざまな営農活動の支援策の一つとして鳥獣害対策への助成を行なっています。
農業の活性化を手助けしています。

自己改革 労働負担軽減に育苗センターで苗を育成!

安全・安心な良質苗を供給しています。水稻苗では管内水田面積の約60%をカバーしており、広くご活用いただいています。

自己改革 めざせ省力農業!水稻用除草剤の新材を開発

防除作業の短縮や作業労力の軽減のため、JAグループで新材の開発を行ないました。普及のための実演会も開催しました。

自己改革 地域に根ざした栽培講習会を開催

農業知識向上の為にミナクリ市生産者や地域住民向けの栽培講習会を開催しています。地域農業の振興を図っています。

自己改革 ハウスリース事業でトマト産地拡大

品質の向上と収穫量増加のため低コスト耐候性ハウスを整備して生産者に貸し出す事業を行なっています。

自己改革 いちごと石川小芋のパッケージセンター稼働

パッケージセンターで荷造り支援を行なっています。いちごでは消費地ニーズに合わせた商品作りの一翼を担っています。

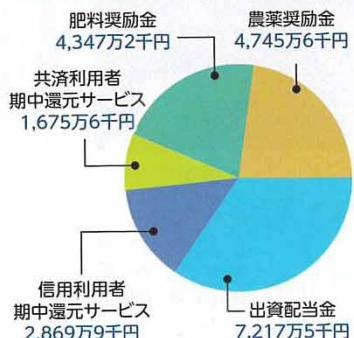
自己改革 夢咲農産物の魅力を売り込みます

夢咲農産物のセールスマントして市場・仲卸との情報交換を行ない、販路拡大と単価向上につなげています。

平成29年度 組合員利用者への還元 地域と社会への貢献

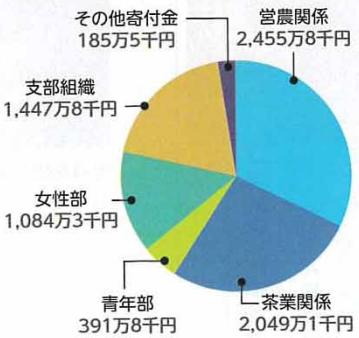
組合員利用者への還元

2億800万円



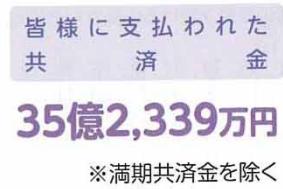
組合員・地域への助成金

7,614万円



事業を通じて皆様へお支払いした金額

1億2,841万円



自己改革 消費地へ響く! 自慢の夢咲農産物をPR!

消費地での消費宣伝活動に力を入れています。
生産者が主体となり夢咲農産物の良さをPRし顧客拡大につなげています。



自己改革 営農経済支援ツールの本格的な活用

営農経済支援ツールの導入により営農指導員の資質向上や組合員の要望に迅速に応える体制づくりを目指します。



自己改革 組合員の声を反映した「農薬キャンペーン」を実施

農薬会社などと折衝し、商品を絞った結果、期間限定で特別価格での供給を実現しました。



自己改革 新たな需要を生み出せ! 新たな商品開発

農産物の消費拡大を目指し、新商品の開発や、地元の学校などとのコラボレーション商品の開発に力を入れています。



自己改革 高品質なお茶を目指して「夢咲茶づくり塾研修会」開催

栽培技術の向上を目的に茶づくり塾を開催しています。
栽培技術の研修を行なっています。



自己改革 盤石な組織づくりへ「茶農協体质強化研修会」

茶農協を対象に茶農協体质強化研修会を開催しています。
組織再編や茶園集積についての研究が行なわれています。



自己改革 遠州夢茶のファン拡大! 各地へ出向き販促PR活動

販促PRイベントや展示会に積極的に参加しています。3月には、国内最大級の食品展示会FOODEX JAPANへ出展しました。



自己改革 消費者とのふれあい 軽トラ市開催

高松支店は、消費者とのふれあいと生産者の農業所得向上のため支店を販売会場として提供しました。

